

○世界に誇る「福井モデル」の確立を

- ・人口急減や地球規模の環境変化など、日本全体が困難な時代を迎える中、「日本のふるさと」とも言える福井県が、その良さを最大限に発揮し、人口減少をはじめとする地域の課題を乗り越え、次の時代に新しい価値を創造する「福井モデル」を確立していくことが、高いポテンシャルを有する福井県が果たすべき役割
- ・新幹線をはじめとする**高速交通・物流ネットワークを早期に完成**させるとともに、**まちづくりや観光地の磨き上げ、新産業の創造に重点投資**し、国内外から多くの人を呼び込む力を引き上げていくことが必要
- ・県民誰もが安心して、豊かな暮らしを楽しみ、そのイキイキとした県民の姿やまちの魅力が、たくさんの人を惹きつけ、地域が賑わい、それがまた県民の誇りにつながる好循環が生まれる**「福井モデル」を、県民の力を結集して確立**

○長期ビジョンのポイント

① 持続可能な福井県づくりの追求

- ・「次世代ファースト」の考え方に立ち、SDGsの理念に沿って、誰一人取り残さない、**持続可能で多様性と包摂性のある地域社会の実現**を目指す。
- ・多子世帯への応援拡充をはじめ、希望が叶う結婚・出産・子育て応援の強化等と合わせ、人口減少下でも幸せな暮らしを維持する**適応戦略**を推進

② 北陸新幹線開業効果の最大化

- ・交流人口の拡大と地域の活力向上を目指し、北陸新幹線福井・敦賀開業を控える最初の5年間（2020～24年度）は、**駅周辺のまちづくりや観光地の磨き上げ等への重点投資**を実行

③ 2040年に向けた長期プロジェクトの実行

- ・福井らしさである「安心と信頼の社会基盤」を次世代へ引き継ぐ『**持続可能なふるさと福井継承プロジェクト**』と、新技術・次世代エンジニア・先進企業が集積する『**世界最先端のスマート福井創造プロジェクト**』を実行

○長期ビジョンの構成

	内容	目標年次 または期間
第1部 将来構想	・国内外の環境変化、福井県の特徴 ・基本理念と目指す姿	2040年
第2部 実行プラン	・新時代スタートアッププロジェクト ・5年間の分野別政策	2020～ 2024年度 (5年間)
第3部 地域プラン	・県内4地域別の将来像と政策	

<基本理念> 「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを、みんなで守り、次世代に引き継ぐ。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指す。

<目指す姿>

先を見通しがたい、困難な時代に、SDGsの理念に沿った持続可能な社会を実現するためには、今ある良さを次世代に継承することはもとより、新たな価値を創造し、絶えず成長する経済社会であることが必要。

福井県は、長い時間をかけて県民皆で培ってきた「安心と信頼の社会基盤」を有し、今また、東西南北へと大きく広がる高速交通インフラの整備も進めている。これらを最大限に活かし、「暮らしの安心」と「社会の活力」、そして「県民の誇り」が相乗的に高まり、好循環を創出する福井県を目指す。



SDGs（誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会）の理念に沿いながら、**3つの姿**を目指す。

※SDGs：2015年に国連で採択された、持続可能な世界を実現するための開発目標

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を大切に。
県民が誇りをもって暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込むふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

すべての人が輝き、互いに支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせるふくい

多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く。創造的で活力があるふくい

変化をチャンスに、しごととくらしをクリエイト。

<2040年に向けたチャレンジ：プロジェクト2040>

2040年に福井県が目指す姿を実現するため、大きなチャレンジとして、2つの長期的プロジェクトを推進

未来へつなぐ
(継承)

**持続可能なふるさと福井
継承プロジェクト**

(SDGs未来都市プロジェクト)

未来をつくる
(創造)

**世界最先端のスマート福井
創造プロジェクト**

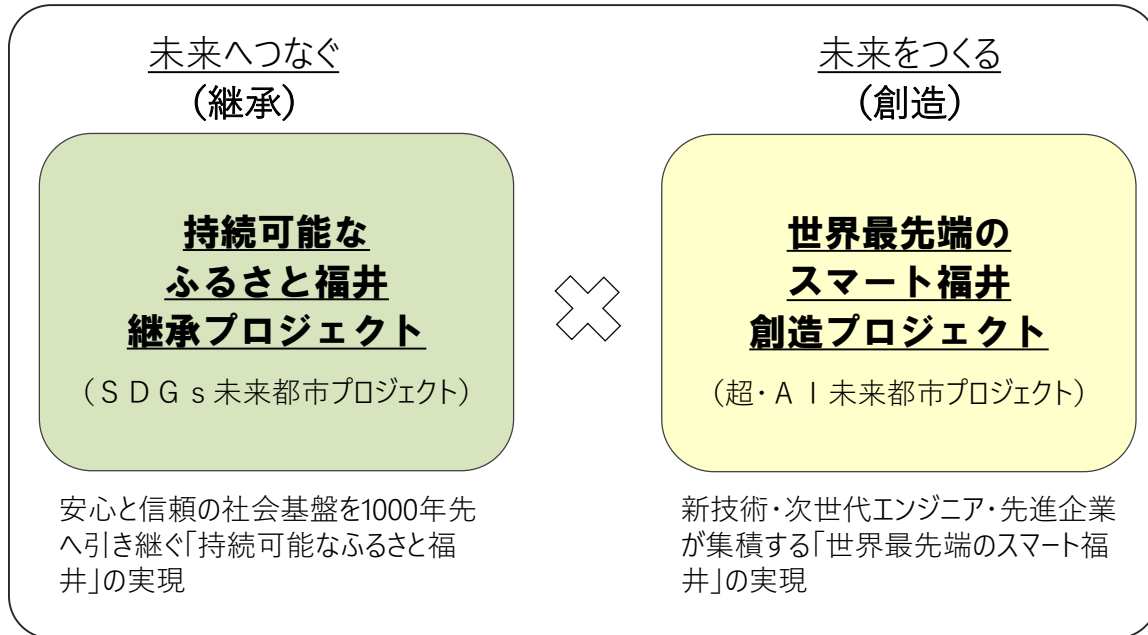
(超・AI未来都市プロジェクト)



<2040年に向けたチャレンジ：「プロジェクト2040」>

2040年に福井県が目指す姿を実現するため、大きなチャレンジとして、2つの長期的プロジェクトを推進

〔2つの「プロジェクト2040」〕



『持続可能なふるさと福井継承プロジェクト』は、千年の時を経て培ってきた暮らしや文化、自然風土など、福井の「安心と信頼の社会基盤」を守り、次の千年に向けてさらに磨きながら継承していくものです。

『世界最先端のスマート福井創造プロジェクト』は、福井の産業集積とそれを支える高い人材力に「技術革新」を結び付け、ハイレベルの次世代エンジニアを育成し、新時代の産業と暮らしを創造しようとするものです。

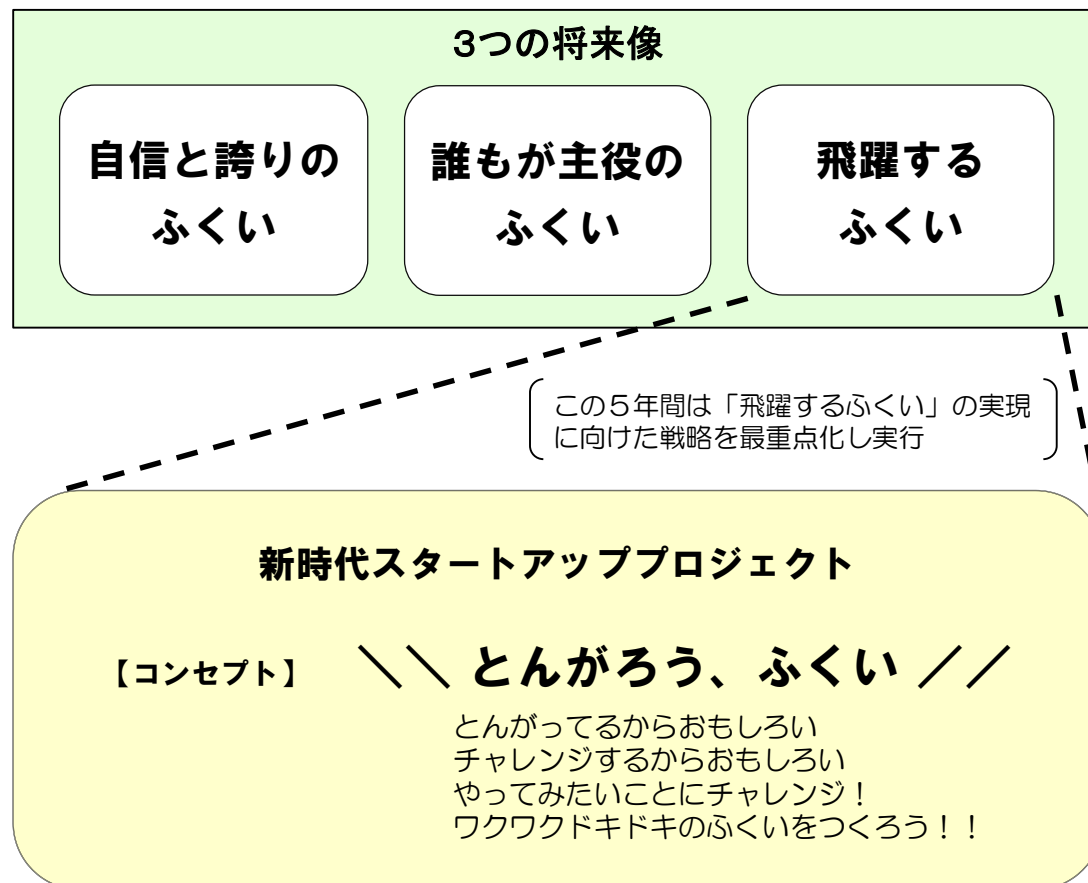
2つのプロジェクトにより、未来へつなぐ「継承」と未来をつくる「創造」を共に実現することにより、持続可能性を高めながら新たな価値を創造し続ける「福井モデル」を確立していきます。

〔2つの「プロジェクト2040」の分野別取組み〕

持続可能なふるさと福井継承プロジェクト (SDGs未来都市プロジェクト)		×	世界最先端のスマート福井創造プロジェクト (超・AI未来都市プロジェクト)	
地域を知り、愛する人材の育成 希望が叶う結婚・子育て応援社会の構築など人口減少対策の徹底とともに、ふるさとへの愛着と自信、誇りを育てる地域に根差した教育を推進	人材力	未来技術エンジニアの育成 子どもからシニアまで全世代型の「AI人材育成システム」をつくり、ハイレベルの次世代エンジニアを育成・集積		
「福井型エコシステム」の構築 地域内で技術、人材、資金などの経済資源が循環し、地域産業が持続的に発展する地域循環型の経済システムを構築	産業力	未来技術を活用した「産業革新」 最新技術を持つベンチャー企業の集積に加え、すべての産業に新技術を活かし、若者に魅力のある仕事の創出と産業競争力を強化		
暮らしの文化と風景の継承 祭や風習、伝統工芸、食文化、里山里海湖の景観など、暮らしの中で培った生活文化を磨き、その魅力で多くの人を呼び込みながら、未来へ継承	創造力	「新時代の交流創造エリア」の実現 新技術を活かし、リアルとバーチャルを融合するなど、文化・スポーツの魅力を高め、国内外から多くの人を訪れる福井発の新たな文化・活力を創造		
「内と外の力」による集落の維持 「地域の力」の最大活用や若者の長期滞在など、あらゆる手段を通して安心して暮らせる集落コミュニティを維持・形成	地域力	未来技術による「暮らし革命」 新技術の社会実装の場をつくり、新しい暮らし方を提案するスマートエリアや地域課題を解決する「シビックテック先進地」を形成		
SDGsの取組基盤の形成 県が先頭に立ち、市町、企業、団体はもとより、県民がSDGsを学び、実践する環境を整え、全員参加型の共生社会を実現	総合力	「デジタルガバメント」構築 県および市町が協働し、新技術を活用して、行政運営や住民サービスのデジタル変革を実現		

<実行プラン 計画期間> 2020～2024年度（5年間）

- ・新幹線県内開業等を迎えるこの5年間は、3つの将来像のうち、特に『飛躍するふくい』実現に向けた戦略を「新時代スタートアッププロジェクト」として位置づけ、3つのプロジェクトを最重点化して実行
- ・これらのプロジェクトは、新幹線開業等を機に外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって実行する、“行政だけが担うプロジェクト”ではなく、“一人ひとりが参加して育てるプロジェクト”として推進
- ・コンセプトは「とんがろう、ふくい」。従来の枠にとらわれない発想やチャレンジを応援し、ワクワクドキドキの「もっとおもしろい福井」を創造



※「とんがろう、ふくい」には、一人ひとりが個性を発揮し、変化や失敗を恐れず、お互いのチャレンジを応援し合う福井を目指そうという想いを込めました。

新時代スタートアッププロジェクト

(1) ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力をとがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を合言葉に。

観光、文化、スポーツ等の尖った魅力で多くの人を呼び込み、県民も来訪者も、誰もが楽しめる場所・機会をみんなで作ります。

目標 ビジット2000

※観光客入込数2,000万人（2024年）

○観光・まちづくりに重点投資

ハード・ソフト両面から観光地やコンテンツを磨き上げ、国内外から多くの人を呼び込みます。

- ・4つの新幹線駅を中心とした魅力あるまちづくりとMaaSなど交通ネットワークの充実
- ・恐竜博物館のフルモデルチェンジをはじめ、東尋坊、丹南工芸産地、三方五湖、若狭湾など、観光地や宿泊を磨き上げてリゾートエリアを形成
- ・越前がに、いちほまれに続く「食のプレミアムブランド」確立と発信
- ・恐竜や戦国、食等を活用した観光列車の運行
- ・外国人が地域に短期滞在し、生活するように福井を楽しむ「微住」の促進



観光地の磨き上げ
(三方五湖)

○国体レガシーを活かし「アスリートの聖地」へ

平成30年福井国体・障スポの成果・レガシーを活かし、スポーツが持つ力でたくさんの人を惹きつけます。

- ・地域スポーツコミッションによる大規模スポーツ大会の誘致
- ・北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたフルマラソンの開催検討
- ・地元の機運盛り上げによるトップスポーツチーム・選手の育成、応援
- ・サイクルツーリズムなど自然を活かしたイベント、アクティビティの開発



大規模スポーツ大会誘致
(アスリートナイトゲームズ)

○まちと暮らしに音楽・アート

1500年の歴史を持つ越前和紙や漆器など伝統文化から、音楽やアートなど現代文化まで、福井に根差す「文化」を活かし、まちなかや集落ににぎわいを創出します。

- ・音楽・芸術など多彩な「フェス」の通年、県内各地での開催
- ・出張美術館など県民がいつでも文化芸術を楽しめる場づくり
- ・伝統工芸・クラフト体験に触れながら産地に滞在するクラフトツーリズムの拡大



まちなかでの「フェス」開催
(ONE PARK FESTIVAL2019)

新時代スタートアッププロジェクト

(2) 次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで未来をつくろう～

「果敢なチャレンジ」でふくい未来を創造。
「次世代ファースト」の観点から、創業支援、働き方改革等により若者に魅力ある仕事を創り、尖った企業・人材を増やします。

目標 スタート3000

※創業、事業承継等の件数3,000件（2020～2024年度計）

○新分野チャレンジ「創業するならふくい」

先端技術や新分野への挑戦、国内外でのシェアトップ、新しい働き方など、若者に魅力ある“尖った”企業を育成・応援します。

- ・メンタリングや投資などによるベンチャー企業の応援強化、将来的な株式上場などモデルとなるリーディングカンパニーの創出
- ・後継人材の全国公募や後継者の新分野展開（後継ぎベンチャー）応援等による「事業創継」促進
- ・お金・人・技術等の経営資源が県内で循環する「福井型エコシステム」の構築
- ・社員ファースト企業の拡大、リモートワークの導入など、「しあわせ働き方改革」の実行



県内企業の上場例

○次世代を担う人材の輩出

起業家、AI・ITエンジニア、一次産業経営者、様々な分野の研究者など、次代を担う“尖った”人材を育成・応援します。

- ・農や水産増養殖を学ぶ学科、古生物関係学部など、県内大学における学部・学科の新設・拡充
- ・FAAふくいアカデミックアライアンスによる大学連携強化、都市圏大学と連携した国内留学や企業・地域と協働したPBLの導入等による「ふくい創生人材」の育成



FAAの設立

○日本一の出会い・子育て応援

将来を担う子どもたちが生まれ、育ちやすい「日本一の出会い・子育て応援社会」をつくりまします。

- ・新たな婚活サポート拠点開設やマッチングシステム導入等による働く若い世代の出会い応援
- ・男性の育休や不妊治療休暇の取得促進など、仕事と妊娠・出産の両立応援
- ・福井発の「3人っ子応援プロジェクト」を第2子まで拡充

新時代スタートアッププロジェクト

(3) しあわせアクション県民運動

～一人ひとりがプレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアクション」がふくいを変える。
それぞれが自分の立場でできることを考え、持ち寄る「県民総参加」の社会をつくりまします。

目標 アクション1000

※県民の主体的な活動応援1,000件（2020～2024年度計）

○県民の“夢実現”を徹底応援

自らの夢実現や生きがい充実に努力する県民の“アクション”を応援します。

- ・若者ミライ会議や若者ステーション開設等による若者のチャレンジ応援
- ・自らの夢を発信し、共感を得て実現を目指す「夢実現クラウドファンディング」の推進
- ・健康長寿なシニアによるボランティア活動、短時間就労、創業、文化・スポーツ活動など、それぞれの100年人生充実に応援
- ・「有償ボランティア」による県民の地域・社会貢献促進



若者のチャレンジ応援
(プランコンテスト)

○課題解決へ県民アクション

まちづくりや地域課題解決に向けた県民の主体的な活動を広げまします。

- ・新幹線開業効果を高める県民主体プロジェクトの実現応援
- ・住民発の地域課題をITで解決する「シビックテック」推進
- ・市民自らまちの将来を考え、行動につなげる「将来構想ワークショップ」の開催
- ・「ソーシャルベンチャー」（社会起業家）育成による自走可能なまちづくり活動の拡大



市民発のまちづくり活動
(「できるフェス」)

○ローカルチャレンジ「移住するならふくい」

国内外との交流を拡大し、外部の人材による福井応援を促進まします。

- ・「河和田アートキャンプ」のような学生の長期滞在による地域課題解決・活性化事例の他地域展開
- ・市町や企業と連携した大都市圏からの「ふるさと兼業」人材の誘致
- ・県内サテライトオフィス等での「リモートワーク」や「ワーケーション」等の推進



学生の長期滞在
(河和田アートキャンプ)

「福井県長期ビジョン」(素案) 第2部 実行プラン

< 分野別の方向性・政策・政策目標・K P I >

分野	方向性	政策	政策目標	K P I (重要業績評価指標)
学びを伸ばす (人材力) ふくいは人が宝。 地域を支え、未来を創造する 人材の育成	福井の人材力を最大の武器に。 心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛する、福井の次代を担う人材を育成します。また、誰もが様々なことにチャレンジでき、自分らしさを発揮できる、多様性が魅力の社会を目指します。	1 夢と希望を持ち、 ふくいを愛する子どもの育成	○一人ひとりが個性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材が育成されていること ○多様な人々と協働し新たな価値を創出する人材が育成されていること など	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学90%、中学・高校75%(2024) など
		2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	○高校生の県内大学進学率が向上するとともに、大学生等の県内企業就職が増加していること など	県内高校卒業生の県内大学進学率 40%(2024) など
		3 多様な価値観を認め合う 「共生社会」の実現	○就業やボランティアなど、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず一人ひとりの適性や希望に沿った活動が活発になっていること など	有業者における男女の家事・育児時間の差 2時間(2021) など
		4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援	○将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みが拡充されていること など	合計特殊出生率 1.80(2030) など
成長を創る (産業力) 力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築	新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。 新産業育成やクリエイティブな事業創出などにリスクをとりながら挑戦でき、若者が魅力を感じる、活気と好循環の地域経済を目指します。	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ	○最新のスマート技術の活用や都市と農村の交流により産出額が増加し、若者に魅力のある稼げる農林水産業にレベルアップしていること など	米・園芸産出額 550億円(2024) など
		6 地域経済のイノベーション	○地域内のお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」が構築されていること など	1人当たり県民所得 356万円(2024) など
		7 Society5.0時代の新産業創出	○A I・I o Tなどの新技術の導入が進むとともに、新市場を見据えた高付加価値なビジネスが多く生まれていること など	製造業の1人当たり付加価値額 1,173万円(2024) など
		8 拡大する世界市場をふくいの成長へ	○世界市場につながるネットワークが充実・強化され、海外との人・物・情報の往来が活発化していること など	県輸出額 2,000億円(2024) など
楽しみを広げる (創造力) 多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の 活力の創出	人が人を呼び込み、交流拡大を地域の力に。 深みのある歴史・文化や自然を活かし、多様な魅力・楽しみを創り出し、すべての世代が誇りを持ち、ワクワク・ドキドキする、個性と活力にあふれるまちを目指します。	9 100年に一度のまちづくり	○北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の開通などに合わせ、新幹線駅周辺のまちづくりや道の駅等の交流拠点が整備されていること など	公共交通機関利用者数 2,119万人(2024) など
		10 北陸新幹線開業効果を最大化	○誰もが福井に魅力を感じて来県し満足する、ふくいブームが創出され、持続的に発展していること など	観光客入込数 2,000万人(2024) など
		11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	○都市部の社会人や学生など、多様な形で福井と関わる人が増え、県内各地で賑わいや活力が生まれていること など	社会増減 社会増(2024) など
		12 文化・スポーツがふくいの活力	○感動とにぎわいが生まれる文化・スポーツのイベント・大会が持続的に開催されること など	成人のスポーツ実施率 65%(2024) など
安心を高める (地域力) 人生100年時代をリードする 「健康文化」の創造。 暮らしを守る安全・安心	人生100年時代を健康・安心に。 新たな高齢者観を構築し、子どもからシニアまで生涯健康であることを志向する「健康文化」を育みます。また、医療・福祉・防災等を充実させ、安心して暮らせる地域を目指します。	13 人生100年時代の健康ライフスタイル	○県民が100歳まで幸せに生きることを目標とした「ふくい型健康ライフスタイル」に基づき、健康リターン教育の実践や健康づくり、運動習慣等に関する県民行動が改善されること など	生活習慣病による死亡数(人口10万人当たり) 162.0人(2024) など
		14 いつでもどこでも安心の 医療・介護・福祉	○「次世代包括ケアシステム」が構築され、症状や本人の希望に応じた医療・介護サービス等を県内どこでも受けられる体制が整備されていること など	在宅で医療・介護を受ける人の数 6,150人(2024) など
		15 ふるさとの暮らしと風景の維持	○都市部との交流の増加やシェアサービス、有償ボランティア等の新たな共助の仕組みの構築などにより、地域コミュニティが持続して運営されていること など	地域運営組織の数 60組織(2024) など
		16 防災先進県ふくいの実現	○日ごろから県民が災害に備える意識を持ち、地域で対応する力を高めて、万一の災害に対し総合力により被害を最小限にする体制が構築されていること など	防災士数 4,150人(2024) など
ともに進める (総合力) 協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化	徹底現場主義による県民主役の県政実現。 県民・企業・団体・市町など「チームふくい」が一丸となり行動するとともに、県境を越える広域連携を強化し、将来像の実現を目指します。	17 「チームふくい」の行政運営	○職員一人ひとりがクレドに基づき自らの判断で責任を持って行動し、徹底現場主義による県民主役の県政が推進されていること など	県債残高 6,000億円未満(2023) など
		18 広域パートナーシップの強化	○ブロック知事会等を通じた国への要望など近隣県との連携により、北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備が促進されること など	他都府県等と新たに連携して実施するプロジェクト数 15プロジェクト(2020~2024計) 5

「福井県長期ビジョン」(素案) 第3部 地域プラン

< 将来イメージ (2040年頃) >

福井坂井地域

※福井市、あわら市、坂井市、永平寺町

- ・県都デザイン戦略に基づく歴史を活かした県都のまちづくりが進捗。永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡や三国湊、丸岡城などの歴史遺産、東尋坊、あわら温泉など、福井を代表する観光コンテンツが集積する**歴史と自然が調和したにぎわいエリア**
- ・繊維や化学、機械などの企業、産業支援機関、大学などがオープンイノベーションの推進により、革新的な技術や製品を生む**未来産業創造エリア**
- ・県立大学や園芸カレッジ等による人材育成と、スマート農業、園芸導入による複合経営、食のブランド化による**食と農のプラットフォームエリア**
- ・自動運転やMaaS、オンデマンド乗合交通など、県民や観光客にとって新たな移動手段が実現する**先端交通エリア**

奥越地域

※大野市、勝山市

- ・日本一の星空にも選ばれた六呂師高原や刈込池の雄大な自然と野外活動、天然記念物に指定された恐竜化石や発掘現場など、**ほんもの大自然を体験するエリア**
- ・福井と中京を結ぶ「東西交流軸」の拠点として、産業団地や道の駅を中心に新たに人や企業が集まり交流する**新産業集積エリア**
- ・中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺、越前大野城やその城下町など、**奥越前の歴史遺産ブランドエリア**
- ・農地・森林を保全し、その豊かな農山村の資源を活かした農林水産業の振興と6次産業化による、**にぎわいと活力の里地里山ビジネスエリア**

< 施策の方向性 (2020~2024年度) >



「福井県長期ビジョン」（素案） 第3部 地域プラン

< 将来イメージ（2040年頃） >

丹南地域

※鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町

・伝統工芸や眼鏡など長い歴史を有する地場産業と 電子・化学等ハイテク産業が集積し、**伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア**

・高い技術を有する地場産業や先端技術産業、豊かな自然を活かした農林水産業などに魅力を感じて集まった移住者、女性、外国人など**様々な人たちが共生しチャレンジするエリア**

・越前海岸における越前水仙群などの景観、生き物に配慮した環境保全型農業の水田地帯、北国街道の今庄宿や鉄道遺産など、行き交う歴史や自然が魅力の**街道新交流エリア**

・伝統的民家や農家民宿などに滞在し、伝統工芸・クラフト体験や農業体験など地域の営みを楽しむ**新たな「しごととくらし」観光エリア**

嶺南地域

※敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おい町、若狭町

・京都・大阪との近接性と自然や歴史・文化・食の魅力を活かし、嶺南から関西に通勤し、クリエイティブに働きながら文化的・健康的に暮らせる**ライフスタイル先進地となるWAKASARIフレッシュエリア**

・駅周辺へのスマートタウン整備、試験研究炉を活用したイノベーション拠点形成により、**人や企業が集まるエネルギー・コーストエリア**

・新幹線や敦賀港のクルーズ船からの外国人が三方五湖や鯖街道、人道の港、漁家民宿などを楽しむ**インバウンドリゾートエリア**

・人々の手で守り継承されてきた伝統芸能・祭り、寺社仏閣、食文化などを学び、交流する**伝統文化体感エリア**

< 施策の方向性（2020～2024年度） >

